

議会だより

Shiso City Assembly News

vol.82

2026年2月

TOPIC

報告

12月定例会・・・P2-3

常任委員会 活動報告・・・P4-5

議会報告会・・・P6-7

一般質問・・・P8-10

モニター会議・・・P11

3月定例会日程・・・P11

議会を知ろう!・・・P12

編集後記・・・P12



中央市議会

画像：(飯見 棚田の雪景色)

第125回穴粟市議会定例会 議案



● 補正予算

第109号議案 令和7年度穴粟市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出にそれぞれ150,728千円を追加し、補正後の予算総額を26,491,637千円とするもの。

本多公園内支障木伐採

質疑 支障木伐採委託料については、クスノキと紙屋門の土堀のどちらを残すべきかとの議論について。

答弁 樹木については、大正3年に卒業記念として植樹されたと思われ、約110年以上が経過している。どちらも地域の文化景観資源として長い歴史があるため、両方の保全の可能性も含めて、文化財審議委員会から専門のご意見を頂いた結果、クスノキ3本のうち最も影響を及ぼしている2本を伐採し、残りの1本については、山崎小学校児童や付近の住民にもシンボルとして親しまれていることから、景観に支障のない範囲で枝の一部を除伐し、根を環状剥皮することで成長を抑制させることで対応する。

交通空白地有償運送支援事業

質疑 ちくさえとこバス本格始動に伴う運行経費の詳細と内訳について。

答弁 2カ月間の車両の運行管理及び運営に必要な経費として、人件費、車両借り上げ費、保険料、燃料費、AI予約システムのリース料等を計上しています。車両は「ちくさの郷」から1日1,000円で借り上げを積算しており、AI予約システムは基本ライセンス料が月額7万円、車載システムは1台月額6千円で積算している。

● 条例改正

第119号議案 穴粟市組織条例の一部改正について

人口が減少する中においても地域の活力を維持し、心豊かに住んで良かったと思える地域づくりをさらに深化させるため、組織機構の再編を行うもの。

質疑 部を増やす意図はなにか。

答弁 人口減少下でも「心豊かに住んで良かった」と思えるまちづくりを推進するためのものであり、まちづくり部を新設し、地域づくり・人づくりを一元的に進める。

令和7年12月 第125回議案審査 賛否が分かれた議案 (討論の概要)

賛否表

議案番号	議案	内海 昌	片山 尚徳	新庄 優子	野口 裕紀子	船元 良子	緒方 加奈	小林 俊子	廣重 希美	横山 泰幸	神吉 正男	八木 雄治	田村 純司	垣口 真也	幸福 定利	大久保 陽一	浅田 雅昭	議決結果
109	令和7年度穴粟市一般会計補正予算(第3号)	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	可決 (賛11 反4)

○：賛成
×：反対

● 第109号議案 令和7年度穴粟市一般会計補正予算(第3号)について

〔主な討論内容〕

反対討論

市長公室より提供された旧城下幼稚園木育施設改修工事について資料や口頭説明、質疑の回答を基に、慎重審議を行いました。その結果、整備目的や将来ビジョンについて不明確さを感じ当該事業に対し反対します。

賛成討論

旧城下幼稚園の木育施設整備工事については、今までの経緯や城下ふれあいセンター契約終了後の市民センター的な役割、有効活用するための将来のプランなどを確認し、整備工事について理解するため、賛成します。

反対討論

「どのような木育を行うか」という明確な理念とビジョンの欠如という重大な課題を抱え、工事費計上は時期尚早と判断します。「木育施設」と銘打つならば、単なる箱物ではなく、子どもたちの成長と、地域経済の活性化に貢献する未来への投資となると考えます。宍粟市の「森林王国」「県下唯一の森林セラピー基地」としての優位性を活かし、市外からも人を呼び込むキラコンテンツと、林業・木材産業と連携した地域を潤す循環の明確化を強く求めます。子どもの居場所提供はありがたい施策であるからこそ、明確な理念と地域経済に貢献するビジョンに裏打ちされた、持続可能な未来に誇れる施設となることを切に望みます。

反対討論

事業内容は【旧城下幼稚園を木育推進の拠点施設として整備する】です。しかし、①幅広い世代の住民への説明と合意形成が不十分です。《自治基本条例・市民参画の原則》②市の重要施策の木育推進のためには、まず市民の理解と関心を高める必要があります。木育を創造していこうとする市民の心の醸成は十分に図られているのでしょうか。しかも木育施設運営の計画も示されていない状態です。③《宍粟市公共施設等総合管理計画》との整合性はあるのでしょうか。四町が合併して誕生した宍粟市は数多くの公共施設を保有します。人口減少社会の到来や厳しい財政状況が見込まれる中、現在の公共施設を維持し続けることは、市の財政やまちづくりに影響を及ぼし、次世代の大きな負担となります。既存の施設の改修利用とはいえ、維持・管理・計画には慎重で周到な準備が必要です。早計な判断を求めず、今一度立ち止まり熟慮することを提案し反対の立場を表明します。

反対討論

109号議案のうち、債務負担行為補正として計上されている木育施設整備工事については、当市の重要施策である木育推進の趣旨から外れており、7,010万円を投じる効果に疑問があるため賛成できません。

令和4年9月に策定された「森林を活用したまちの創造」をテーマとする木育推進方針では、市民・地域団体・企業との連携が重視されています。しかし、今回の施設整備に関して意見聴取の説明はなく、方針にない事業だけが先行しています。

さらに、議会では「城下ふれあいセンターの代替として交流拠点を整備する」との発言がある一方、当局は「市民のための木育施設整備」と説明しており、整合性がありません。木育施設整備には、十分な構想と、国の補助金などの財源確保を経て、地域文化の拠点として長期的に活用できる計画を示したうえで予算化し、市民や市外からも人を呼び込めるよう、当市の森林資源を最大限に活かした整備を進めることが望ましいと考えます。

賛成討論

第109号議案は、宍粟市の市民生活に必要な事業を推進するための補正予算であります。また、今回の木育施設整備工事については、地域の方や子育て世代の方々からも多くの意見を伺ったとの説明もあり、多くの市民にも開かれた施設となるよう整備が進められています。

そして、木育施設として「森林から創まる地域創生」に基づき、木育をテーマとした取り組み等を展開することで、まちへの愛着を育む意識の醸成等を図る、を目的として宍粟材を活用した遊具等を設置した施設で、子どもたちがいつでも自由に利用でき、まちへの愛着や自然への関心を育む場になることを期待しています。

賛成討論

木育施設整備事業は、当初予算において既に計上されているものであり、今回の補正において債務負担行為として計上することもあらかじめ明記されてあります。したがって、手続きとしても適正であると判断します。また、金額の内訳も、教育施設から一般施設への改修であることを踏まえると、おおむね妥当な水準であると考えます。木育施設の目的は二つあり、一つ目は「木と楽しむ」。二つ目は「集う居場所づくり」。城下ふれあいセンターの契約終了も近づいており、今後は南部地区の新たな集いの場として位置づけることで、拠点づくり、生涯学習の推進、居場所づくりの充実につながり、世代を超えた多目的な交流の場となることが期待されます。

以上の点から、今回の木育施設の整備は、本市の資源を活かしながら、市民の学びと交流、そして安心して過ごせる居場所づくりを進めるうえで、必要と妥当性を備えた事業であると判断し、本議案に賛成します。

賛成討論

旧城下幼稚園跡地活用は、平成の合併により市内でも学校園所が統廃合され、閉鎖された学校等施設は、教育施設として利活用できる施設と、利用されない施設に分けられます。利用されないものは行政財産とし、更に行政財産として利用できるものと、そうでないものに分けられ、利用できない行政財産は、まず地元地域に利用の確認を行い、希望のないものは公募等により利用者を募ることがルール化されています。

施設修繕は、園舎を不特定多数の方が利用する施設に改築するための行為であり、法に適合する必要があります。行政内部では事業審査並びに設計審査組織で適合したものの事業が認められます。

よって、本補正予算提案は適正なものであります。





総務経済常任委員会所管事務調査(継続調査)中間報告書

1 調査事項

乾田直播(マイコス米)栽培技術について

マイコス米とは、菌根菌(マイコス菌)を利用して、水やりの手間を大幅に減らす「乾田直播(かんでんちよくは)」という方法で栽培された米です。



[種まき]

2 調査期間

令和7年7月15日~令和7年12月11日

3 調査の背景と目的

宍粟市では農家の高齢化や担い手不足、耕作放棄地対策が課題となっています。

マイコス米は水管理の効率化が期待でき、効率化により削減された作業時間を栽培面積の拡大分に充てることにより所得向上が図れるものと考えます。

マイコス米栽培が担い手不足の解消につながるか検証し、市への政策提言を行うことを目的としています。

4 調査内容・結果

マイコス米の栽培による一般栽培米との比較

- (1) 宍粟市内でも乾田直播栽培が行えるか
 - ↪山崎町片山地区、一宮町安積地区、波賀町上野地区で栽培が行えた
- (2) 除草剤、肥料等の費用が削減できているか
 - ↪約8,000円削減できた(10a当たり)
- (3) 作業時間が短縮され、労働力の削減につながるか
 - ↪18時間程削減できた(10a当たり)
- (4) 食味等に差は出していないか
 - ↪JAで測定を実施した結果、一般栽培米より約10ポイント点数が低かったが、委員会委員と担当部局職員での食べ比べではどちらも遜色なく食すことができた



[データ計測]



[現地確認]

5 総括

マイコス米は水管理を行わないため雑草が多く、除草作業が重要です。圃場や雑草の種類に応じて除草剤を選びます。また、連作障害対策には堆肥などの土壌改良材が必要です。今回は収量が80kg/10aと全体平均より低く、遅い直播、無灌漑、雑草による養分競合や分けつ不足が原因と考えられます。

6 今後について

マイコス米栽培は、収量面で課題がありますが、省力化や人手不足対策、耕作放棄地の利用、高温や水不足への対応が期待できます。今後は影響度分析や他品種・栽培法との比較データの追加、育苗期と同時期の直播調査、先進地事例の継続調査を行います。



かんでんちよくは

乾田直播とは……水を張らない乾いた状態の田んぼに直接稲の種をまく栽培方法です。

総合病院

令和7年度アクションプランについて

問

令和7年度アクションプラン上半期報告で、訪問診療が減少している要因は。

答

慢性疾患の患者が増え、訪問頻度が週1回から月1回へ減ったことや、病状悪化による入院等が増えたことが要因。今後は訪問診療の利点を丁寧に説明し対象者を広げる。あわせて地域医療の中心病院として救急や入院を担い、必要に応じて姫路の大規模病院と連携し、救急医療体制の充実を図る。

穴粟総合病院の勉強会

文教民生常任委員会では、穴粟総合病院の事務担当から財務諸表の基礎的な見方について説明を受け、今後の審査に向けた知識の整理を行いました。

市民生活部

〔継続調査事項：地域生活公共交通事業〕

問

ちくさえとこバスの利用者数や感想、小型バス廃止への反応は。

答

ちくさえとこバスの11月の利用者は189人で、1便あたり2.03人となっている。利用者からは「気軽に移動できる」との声がある。11月末に奥西山線・鷹巣線の小型バスが廃止となったが、現時点で大きな支障は生じていない。

一般産業廃棄物処理業について

問

一般産業廃棄物処理業の許可取消について、市民説明会は。

答

生活系一般廃棄物は委託収集の空白が生じないように調整しており、市民生活への影響はなく、説明会の予定はない。

健康福祉部

高齢者の自殺対策の状況について

問

高齢者の孤立防止に向けた対策は。

答

地域包括支援センターが定期的に健康確認や相談対応を行い、見守りを続けている。通いの場への男性参加が少ないことが課題であり、今後は参加しやすい環境づくりを進めていく。

教育部

部活動地域展開について

問

費用負担や公的支援、穴粟モデルの特徴、指導者の確保等についての対策は。

答

費用負担・指導者確保・公的支援の枠組みがまだ課題。中学生座談会で得られた子どもの声も取り入れつつ、現実的な運営体制を模索している段階である。

文教民生の
「これ、知っとこ!」

地域活動支援センターについて

穴粟市には、地域活動支援センターという、社会へ出ていくのに不安がある方が安心して集える場所があります。社会で生きづらく、人との関わりに不安を感じる方が、安心して立ち寄れる居場所となることで孤立を防ぎ、「働く」以外の形で地域に関わり社会参加を図り、困りごとのある人と地域住民が交流し相互理解を深め、地域共生社会の実現に欠かせない場所です。地域包括支援センターは市民一人ひとりの理解や関りによってさらに力を発揮します。これからも地域の中で支え合い、共生社会を育てていきたいですね。

わがまちトーク - 議会報告会 -



今回の議会報告会では、広報・広聴との観点から、議会として市民の皆さまの声をより丁寧に受け止めたいと考え、「わがまちトーク」と題したグループトークを行いました。委員会報告の後、テーマに沿って率直で多様なご意見をいただきました。

議会報告 委員会から主に継続調査について報告しました。

- ・乾田直播栽培技術について
- ・地域生活交通対策事業に関する事項について等



グループ
トーク
テーマ

01

災害時の対策について

主な意見

- 指定避難所が浸水区域にあるので不安、家より危険だと思う
- 障がい者・精神障がい・認知症など、症状に応じた柔軟な避難所の運用を
- 透析患者の人数把握、受入れ施設までの搬送経路など具体的な体制を
- 地震・風災害などの避難訓練を自治会レベルで定期的に
- 自治会館の備蓄の有無確認、孤立集落がないか事前確認を
- 「ここ以上で避難」など、河川増水時の避難判断の目安を示してほしい
- 引原ダムの放流コントロールは適切にやってほしい



グループ
トーク
テーマ

02

上下水道について

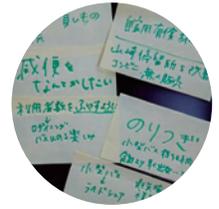
主な意見

- 物価高での料金値上げは厳しい
- 一般会計からどれだけ繰り入れられるか、財源の見通しが知りたい
- 料金が高いことが子育て世帯の定住に影響するのでは
- 市内の上下水道は安全なのかというストレスな不安
- 下水処理場の薬品の影響か、川に鮎がいなくなったなどの声がある
- 人口が少ない地域は合併浄化槽へ戻すのも選択肢
- 水道施設を修繕するために市民の負担が多くなるのでは



グループ トーク テーマ 03

地域公共交通について



主な意見

- 路線バスを縮小してオンデマンド中心にしてはどうか
- 「ええとこバス」など、便利・好評な取組を他地域にも広げてほしい
- 路線維持の基準や廃止リスクの情報が自治会長どまりになっているので、広報等で市民へ丁寧に周知してほしい
- 運転手の担い手不足を前提に、制度・仕組みの再設計が必要では
- 高齢者版ファミサポ、声かけ、地域のつながりで助けあう車など互助の仕組みも検討を
- 積雪時の移動が大変。主要施設近くの住まい（集合住宅等）も含めた検討を
- 車に乗らない方々に対して、安心して暮らせる仕組みづくりが必要



グループ トーク テーマ 04

部活動の地域展開について

主な意見

- 専門性のある指導者を確保できるのか、指導者の資質・熱量への期待を心配
- 練習場所までの移動手段をどうするか、保護者送迎を前提にしないでほしい
- 活動費はゼロ、もしくは最小にしてほしい、送迎・費用などで家庭負担が増えるのはおかしい
- 放課後時間を持て余し、ゲーム・スマホ時間やネット依存リスクが増えるのでは
- いつからどう変わるのか、開始期間・方針が見えにくいので明確に示してほしい
- 上下関係、目標に向かう経験、達成感、生活習慣づくり、健全育成として部活の継続を望む
- 新しい部活のチャンス、少人数でもできる部活、個性を出せる部活



いただいたご意見は、地域の課題として、議会で受け止めました。
皆さまの声を議会内で共有し、委員会審査や質疑の場でいかし、改善に向けて執行部と建設的に議論を重ねてまいります。
ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。
上記以外のものも含め、ご意見はホームページに掲載いたします。



大久保 陽一 OKUBO YOICHI



Q 市民とともに進める宍粟市の企業誘致について

A トップセールスを積極的に行い、市民の皆さんと一緒に宍粟市の未来へ向かいます

質問 市外から宍粟市への企業進出に関しての問い合わせは、この数年間に何件あったのか伺う。また、その内、宍粟市内への企業進出を断念した企業は何社あったのか、さらにその断念した理由は何なのかを伺う。

産業部長 今年度を含めた過去5年間に、約30件の問い合わせを受けています。そのうち20件が市外からの問い合わせであり、7件が宍粟市への進出を断念されています。理由につきましては様々ですが、資金面や候補地周辺の道路整備状況、従業員の確保が困難であることなどとなっています。

質問 企業は、自治体(行政)の企業誘致に関しての熱量を気にしている。自治体の熱量がないと企業誘致に至らないのではないかと考える。市長の考えを伺う。

市長 企業誘致に限らず全ての業務において職員の熱量は重要であり、企業誘致の実現に向け地元との調整などに尽力しております。さらに、私自身がトップセールスをこれからも積極的に行い、市民の皆さんと一緒に宍粟市の未来へ向かっていきます。

横山 泰幸 YOKOYAMA YASUYUKI



Q 宍粟市の地域農業を持続、活性化する為に防草シートを農業従事者に支給できないのか

A 多面的事業や中山間事業補助金を利用して防草シートを購入していただきたい

質問 作業委託をした際の作業料金を補助することはできないか。

産業部長 検討する必要があるが現状は地域で守っていただきたい。

質問 赤西渓谷の散策や各地の資源を活かした観光誘致を期待するが。

産業部長 今まさにプランの商品化に向けモニターツアーを実施し、調査研究を行っているところです。

質問 テレビや映画ロケ地としての誘致をしてはどうか。

産業部長 観光協会と相談しながら検討していく。

質問 スポーツ好きや芸術を得意とする若者を全国から募集採用し指導する時間をフレックスタイムとしてはどうか。

副市長 現時点では考えていない。

新庄 優子 SHINSHO YUKO



Q 宍粟市の部活動地域展開の完全移行の時期、それに向けての取り組み状況は

A 令和10年10月完全移行に向け、推進委員会等を通じて課題整理を進めている。

質問 令和8年度から前期改革実行期間が始まるが、現在の進捗状況、地域クラブ団体認定要件はどのように定めるのか。発達期である中学生の心身の状態に配慮した取り組みは計画されているのか。

教育部長 令和10年10月の完全移行に向け、クラブ団体認定要件、保護者負担の目安、生活困窮世帯への支援、クラブ団体への補助等、国の方針を含めながら、課題整理に向け、部活動地域展開推進委員会で協議を進め、協議経過は市ホームページで公開している。地域クラブ活動団体の創設には、従来の学校部活動の教育的意義を継承し、全ての子どもたちがスポーツ、文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保することを方針とする。活動は学習や睡眠時間など生活リズムに影響を与えないよう、中学生の心身の発達に十分考慮して進める方針。

教育長 令和7年度中には、様々な機会や方法を通して、子どもたちや保護者、地域クラブ団体に具体的な説明を行う予定である。

あわせて以下の項目について質問しました。
・健康寿命延伸の取組について

船元 良子 FUNAMOTO RYOKO



Q 地域で支える学校コミュニティ・スクール(以下CS)の現状

A コーディネーターは配置済み、地域学校協働活動推進員は今後の検討

質問 CS効果について

教育部長 CSの導入後、子どもたちの自己肯定感や地域との協働等の項目はすべて上昇しています。地域と学校との調整役を担う地域コーディネーターを配置しているため、新たに地域学校協働活動推進員の委嘱は考えていないが、必要性については今後の検討事項とします。CSによる事業は現在ありませんが、県の補助事業を活用した放課後子ども教室や宍粟学び支援事業は実施しています。

質問 スクイム市との国際交流

副市長 1月にオンラインによる交流を実施します。令和8年度から3年ローテーションでスクイム市からの受け入れ、高校生を中心としたスクイム市への派遣、オンライン交流を予定しています。スクイム市以外の海外派遣は現時点では考えておりません。

QRコードから各一般質問の動画をご覧いただけます

野口 裕紀子 NOGUCHI YUKIKO



Q 当市の職員におけるメンタルヘルス対策について

A 新たに外部相談窓口を設置するなどの対策を講じている

質問 職員の心の健康は、本人や家族にとって重要であることはもちろん、市民への効率的かつ的確な公務提供にも欠かせない。また休職制度は離職率の低下や人材確保に有効だが、休職者が多い状況では逆に弊害となり得る。令和4年度以降の休職者増加について、市はどのように認識し、今後どのような対応を取るのか。

総務部長 メンタル不調による休職者は全国的にも増加傾向である。当市においても近隣市町より多い状況はあるが、原因の分析は難しい。特に令和5年度に一時増加したがその後は横ばいで、大きな改善は見られていないと認識している。今年度から外部相談窓口を設置しており、定期的に周知する方向性である。今後はセルフケア・ラインケア研修等を含め引き続き早期発見から介入、回復支援まで一体的に取り組む必要があると考えている。

あわせて以下の項目について質問しました。
・令和7年度上半期における公立穴粟総合病院の財務状況について、及び経営強化について「経営形態」と「医師偏在対策」の提案

小林 俊子 KOBAYASHI SHUNKO



Q 雇用創生協議会の返金問題のその後の経緯について

A 協議会は返還する資産を持ち合わせていないため現在も返還に至っていない状況である

質問 国からの返還命令というのは非常に重い言葉だと思います。このまま放置する態度を見せることは、法遵守をしないような事があってもよいという悪い事例を市民に見せることになるのではないのでしょうか。

市長 この問題の解決に向け、可能な対処は考え得る限り取り組んでまいってきたところであります。放置をしてきたという認識はありません。

質問 解決に向かうためには何が必要だとお考えになっているのでしょうか。

市長 まず協議会を設立した方々と、意思疎通して皆さんと共有できたら解決の道が有るかも分かりません。当時の副会長をはじめ事務局にいた方と機会があれば議論を深めていきたいと思っています。

内海 昌 UTSUMI AKIRA

UTSUMI AKIRA



Q 高齢者の孤立防止と自殺予防に向けた地域支え合い体制の強化について

A 連携強化や人材育成を含め、地域の声をより丁寧に拾い上げる体制づくりを検討していく

質問 穴粟市の自殺死亡率は、兵庫県内でも高い水準で推移しており、なかでも男性高齢者の自殺者数が多い状況にある。これまで地域や家庭を支えてくださった方々、時代をつくってくださった方々が、なぜ人生の後半で自ら命を絶つような状況に追い込まれるのか。本市では、高齢者の対策として、高齢者が社会参加しやすい地域づくりを進め、社会的孤立を防ぐとしているが、その取組は十分と言えるのか。

健康福祉部長 通いの場は、高齢者が気軽に集える居場所となっており高齢者の孤立防止や生きがいづくりに一定の効果をあげていると認識している。一方で、通いの場に参加できていない高齢者や孤立リスクの高い人の把握や支援には課題があることも認識しており、今後は、市と自治会、支援者等が連携した包括的な支援体制を強化し、孤立や悩みを早く見つけ支援につないでいく体制づくりを検討していく。

質問 英語検定受験料補助制度について

教育長 生徒が自身の英語力を把握し、高めるため初回挑戦を後押しする全額補助を継続し3年間の実績を検証する。

片山 尚徳 KATAYAMA HISANORI



Q 穴粟市のハンター不足について

A 穴粟市では、猟友会員の確保に努めている

質問 本市では、罾猟と銃猟どちらのハンターを主に増やしたいと考えているのか。

産業部長 罾・銃の捕獲方法には長所、短所があり、効率よく捕獲するには、両方がバランスよく必要だと考えている。銃猟は即効性があり、効率の高い捕獲が可能で罾猟では初期費用のハードルが低く、銃猟ができない場所でも設置ができる長所がある。例えば、集落外では銃猟、集落内に入り込んだ個体は、罾猟で捕獲するなど使い分けることで、効果の高い被害防止につながると考えており、市としては、どちらの狩猟者も増やしたいと考えている。

質問 ガバメントハンター(公務員ハンター)の創設及び設置の検討はできないか。

産業部長 ガバメントハンターについては、猟友会に駆除を依頼する現体制を維持し、設置までは現状考えていない。しかし、今年度から若い世代の捕獲者育成と市内全域の被害発生箇所に迅速、柔軟に捕獲活動が可能とする狩猟研修会を猟友会に依頼し実施している。

あわせて以下の項目について質問しました。
・穴粟市消防団における団員確保について

垣口 真也 KAKIGUCHI SHINYA



Q 想像し、創造できるグローバル人材の育成を

A 国際交流を通じ地域の将来へ、具体をしっかりと作り、実践へと繋げていきたい

質問 スクイム市との交流再開が一過性のものでなく、継続性のあるものにする考えはあるのか。

副市長 3年ローテーションの市民交流を開始することで合意し、穴粟市国際交流協会の協力も得ながら、来年度は受入れを行いたいと考えています。

質問 学校での探求学習と国際交流の運動を支える、また国際課題を題材とした授業づくりなど、教育の現場での取組をどのように進めていくのか。

教育長 他国の文化理解や多文化共生については、共に生きようとする心情として他国の人たちと手を携えていくことの大切さや人としての生き方を考えること、また地理的環境や国際的な課題など、世界というものについて、科学的に物事を考えていくことの両面が大事だと考えています。学校にはそうしたカリキュラムがあり、各教科の学習とか、道徳、総合的な学習の時間を通して国際理解教育にも取り組んでいきます。

緒方 加奈 OGATA KANA



Q 「発酵のふるさと穴粟」の深化と、市民の健康と誇りの醸成について

A 行政と市民が一体となり、発酵文化を育てていく

質問 市民参加と地域資源を活かした発酵の推進について伺う。

市長公室長 発酵は日常に根づく文化であり、地域での取組を掘り起こし、意識を高めることが重要であると考えています。発酵フェアや小学校でのみそづくり体験を今後も継続し、市内事業者や他分野との連携の強化を協議会で議論しながら、庁内横断で取組を進めていきます。地域や各種団体と協働し、オール穴粟で発酵のまちづくり、地域経済の活性化、健康増進につなげ市民の皆さまに誇りをもっといただけるような取組をしっかりと進めていきます。

質問 発酵を市の柱として育て、今後さらに進めていくための市長のビジョンを伺う。

市長 令和元年7月に発酵のまちづくり推進協議会を発足し、協議会を中心に発酵というキーワードでまちづくりを進めてきました。これからはさらに進化させ、市民の皆さまの参画と協働のもと、発酵を軸にまちづくりの方向性をしっかり見定めていくことが大事であると考えています。

幸福 定利 KOFUKU SADATOSHI



Q 市民の命と暮らしを守り、人を呼び込む最低条件の北部を横断する道路網整備について

A 穴粟市では道路網整備は地域住民にとって非常に重要なものとして理解をしている

質問 市内北部を東西に延びる国道429号の志引峠トンネル化事業について、市民へ丁寧な状況説明が出来ないか。

市長 志引峠トンネル化は兵庫県事業計画の事業調整箇所として「兵庫インフラ整備プログラム」に位置づけされており、進捗があれば随時説明を図っていきます。

質問 波賀・一宮間にある高野峠は冬季間通行止めが常態化しており、市内北部で災害等が発生した場合には非常に重要なルートでもある。このため早期に促進協議会等を立ち上げるべきではないか。

市長 過去の災害等を含め機運を高めていくことが非常に重要であり、道路網整備促進のために可能な限り早期に促進協議会の立ち上げに努めていく。

廣重 希美 HIROSHIGE NOZOMI



Q 穴粟市北部への観光をふくむ情報発信について

A 協議をしながらわかりやすい情報発信の方法を検討します

質問 これから冬にかけても市内には多くの観光客が来られる。その中で、特に穴粟市北部ではガソリンスタンドの休業情報やトイレまでの距離がわかりにくい。住民拠点SSの情報を応用したマップ整備をおこなってはどうか。

産業部長 現在の観光マップに、すでに道の駅やトイレ、ガソリンスタンドの情報はのせてあります。

市長 市内には石油を取り扱う協同組合があり、人材不足等の課題もありますが、祝日・日曜日の営業や営業状況の表示等について、今後協議していきます。

質問 来訪者に安心、満足して帰っていただくために、観光サービス業をはじめとした各事業所が、同じ情報をシェアし、いち早く届く仕組みを考える必要がある。情報発信を頑張っている若い世代へ、SNS等で一貫した情報をわかりやすく発信することを委託してはどうか。

産業部長 今は直営で頑張っています。費用的なこともありますが、委託について、今後穴粟市観光プラットフォーム等の会議のなかで議題にあげ、検討していきます。

議会広報モニター会議開催

11月26日に宍粟市議会広報モニターと広報広聴常任委員による令和7年度 議会広報モニター会議を開催しました。夜間にもかかわらずモニター7名の出席をいただき、市民感覚による意見をいただきました。ここでは、その意見の一部を紹介します。

○ 議会だより ○

◆ モニターさんの主な意見等

- ・全体として親しみやすく、読みやすい構成になっている。
- ・文字だけでは分かりにくい部分があり、写真や図があると理解しやすい。
- ・分かりにくい専門用語には、注釈を付けてほしい。
- ・一般質問の掲載により、議員それぞれの関心や取組が分かる。
- ・一般質問の内容は、議員本人が原稿を作成していると分かり、納得感がある。
- ・QRコードを活用し、動画で議会の様子が確認できる点は便利である。
- ・議会としての議論や政策提言の内容を、議会だよりでより明確に示してほしい。

○ その他 ○

◆ モニターさんの主な意見等

- ・音声聞き取りにくい場合があり、改善を期待したい。
- ・委員会の様子も動画で見られるようになると、より理解が深まる。
- ・傍聴案内について、写真付き・導線が分かる説明があると行きやすい。



議会モニター会議の意見等は、QRコードでご覧いただけます。



モニター会議
報告書



○ 議会報告会等 ○

◆ モニターさんの主な意見等

- ・議員と直接話せる場は貴重であり、議員の人柄や考え方を知る機会になっている。
- ・参加者が少なく、特に女性が参加しにくい印象がある。
- ・開催時間や曜日、場所について工夫が必要ではないか。
- ・市民の関心が高いテーマを取り上げることで、参加者が増えるのではないか。
- ・意見を聞く場なのか、議員の考えを聞く場なのか、目的を事前に明確にしてほしい。
- ・前半の議会報告では一つの内容に重点が置かれており、ほかにも話し合われた内容が分かるとうかった。
- ・報告内容にもう少し幅やボリュームがあると理解しやすい。
- ・テーマによっては、当事者世代が参加しやすい方法を検討してほしい。

そうだ!
議会へ行こう

市議会を見学(傍聴)するには
市役所5階の議場傍聴席入口で
氏名等を記入するだけ
簡単に傍聴できます

概ね10人集まれば
おでかけ市議会
承ります
詳しくは
ホームページまで

令和8年3月議会 定例会日程(予定)

2月27日(金)	本会議(議案上程)
3月 4日(水)	常任委員会付託案件審査
3月 5日(木)	常任委員会付託案件審査
3月 9日(月)	一般質問
3月11日(水)	一般質問
3月12日(木)	一般質問・表決
3月16日(月) ~19日(木)	予算審査
3月27日(金)	本会議(最終日)

不明な点はお気軽にお問い合わせください

☎0790-63-3126

本会議の様子は、しろうチャンネル・ぎかチャン
などで中継しています。

YouTube
チャンネル
ぎかチャン



議会を知ろう

こどもしろう市議会



ぜんかい けっさんしんぎ
前回の決算審議の
はなし
お話よくわかったよ!
次はよさんしんぎ
予算審議について
おし
教えてくれるかい?

たと におん あつ
例えば5人から集めた
こんげつ こづか
今月のお小遣い
5000円があるよ。
えん
みんなならどう使う?

3つのチェックpoint

ほんとう ひつよう
本当に必要なことかな?

よ かた
もっと良いやり方はないかな?

みんなのためになっているかな?

僕自転車買いたい!

かね みんな はたら おさ ぜいきん
このお金は、皆が働いて納めた「税金」と
たいせつ かね つか
いう大切なお金だから、しっかりと使い
みち かんが
道を考え「これでいいよ!」と決めるのが
よさんしんぎ
「予算審議」だよ。

12月定例会においては、一般会計補正予算及び特別会計補正予算を含む7件の議案ならびに条例改正等13件の議案、合計20件の議案が、各常任委員会にて慎重かつ詳細に審査され、これら全ての議案は本会議において可決されました。

各議案および補正予算は、社会情勢の変化への適切な対応策、市民生活・福祉・教育・防災等の諸分野への配慮に基づいて策定されております。また、条例改正等についても、時代の推移及び市民ニーズに即した見直しが施され、より良い地域社会の実現に向けた前進が感じられました。

今後も議会一丸となって、地域社会の発展に寄与できるよう努めてまいります。

広報広聴常任委員会委員

兵庫県議会だより Vol.82
2026(令和8)年2月13日
編集:広報広聴常任委員会
発行:兵庫県議会

F 671-2593 兵庫県山崎町中広瀬133-6
TEL. 0790-63-3126 FAX. 0790-62-2028



議会だより



議会情報



兵庫県